山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2022年3月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

「折り合いをつける」

日本人は自然と折り合いをつけて暮らしてきました。自然の風景に見える、棚田や里山は、自然そのものではありません。人が山を切り崩して石を積み上げ、水を引き込んだものが棚田であり、自然の木々を伐採して薪や炭を得てきた森が里山です。自然に踏み入り、自然のものを使うのですが、それが続くような良い加減を保つことで、結果として自分たちの暮らしも持続的で安定したものが育まれてきたのだと思います。

ここ最近、自然エネルギー活用という名のもとに、大型の太陽光発電や風力発電が世界中の自然環境の中に建設されています。未利用の、無駄になっている自然のエネルギーや資源を活用するというのは、石油などの地下資源を大量に消費してきたこれまでを振り返ると大事な考えですが、野生動物などへの悪影響もあるわけで、あまりに「活用」が叫ばれると違和感を覚えます。自分自身も、「荒廃した森林や農地を活用する」という話をする際、同じようにもやっとします。他者の立場をおもんばかることなく自分の考えや利益を拡大するときに「活用」の言葉を使っている気がするからです。

人と人の関係にも同じような点がありますね。その人のためになるからと、社会にとって良いことだからと、自分の意見や考えを押し付けてしまうのは、「未利用の、無駄になっている自然エネルギーを活用する」気持ちに似ている気がします。自然はしゃべりませんが、姿かたちは変容し、後からその結果を知ることになります。自分の利益を得ながらも、他者のことを考え、人と自然、人と人の折り合いをつけて暮らしていきたいものです。

春を迎え、農作業や山仕事が忙しくなってきます。皆さんと田んぼや山で一緒に汗を流しながら、話をできることを楽しみにしています。2022年度の山村塾もどうぞよろしくお願いします！（小森耕太）

2021/11/13　KDDI 株式会社九州総支社のボランティアの皆さんと石垣の草取り

稲作コースより

新年最初の行事は、左義長です。前日の準備では、四季菜館の下にある竹林から竹を伐り、川を渡して棚田に運ぶ作業からスタート。なかなかの力仕事ですが、大人も子供も汗をかきながら、力をあわせて頑張りました。竹林もさっぱり綺麗になり、棚田には高さ約７ｍの立派な竹櫓が立ちました。翌日の本番では、寅年の皆さんが火付け役となり、点火すると勢いよく炎があがり、ばちん！ばちん！！と大きな爆竹の音が棚田に響き渡りました。

ここ数年の左義長はお天気がいまいちだったのですが、今年は晴天に恵まれ、なんと６年ぶりに棚田で七草がゆや鴨焼きなどのお昼ごはんを囲みました。なんだか幸先のよい感じがする新年のスタートとなりました。

さて、2022 年度の稲作コースでは、田んぼの草取り・草刈りの行事を増やす予定です。大変ですが、棚田での米づくりに欠かせない大事なしごとです。複数回行いますので、ぜひ１回はご参加ください！今年も皆さんと一緒に、棚田の風景を楽しみながら守っていけたらと思います。どうぞよろしくお願いします。（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
12/5	しめ縄づくり	24	0	11	35
1/9	全体行事 左義長	52	14	10	76

棚田に大集合！！（1/9 左義長）

農家の声

コロナ禍と生前葬！
そしてシェアハウス！！

2022 年３月に古希を迎えるに際して、私は生前葬を計画していましたが、さすがにこのご時世、延期せざるを得ませんでした。我が地域でも外出制限のかかった家庭がちらほらありました。そこで１年後のコロナに配慮しての実施に移行しました。

生前葬と併せて検討中なのが、シェアハウス（共同生活）です。これからの時代、四季菜館風のシェアハウスが存在しても、の思いがあり、田舎ならでは、そして我が家の日常をベースにしての生活空間を作り、結果、健康寿命を延ばせたらと考えています。具体的にはまだまだ抽象的なものです。色々要望・意見がある方はどうぞ…！

もう一つ、生前葬は会費制で楽しくをモットーに企画中です。こちらはスタッフを若干名募集中です。ご応募お待ちしております。

これからはウィズコロナで生活面に配慮した日常が習慣になります。今後も色んな活動、イベントを注意を払いながらも楽しくやりましょう！

2022 年３月古希
百姓　椿原 寿之

山林コースより

2/27 の「ケヤキ林の手入れ」では、予定を変更して、午前中は今シーズン最後のしいたけ菌打ちを行いました。午後からは特別編。この日の参加者のお一人で、趣味で養蜂をされている中島さんからのご提案で、ケヤキ林に行ってニホンミツバチの待ち受け箱（巣箱）を２つ設置しました。

ニホンミツバチは、レンゲなどの草花よりも、ちょっと地味目な樹木の花が好き…など、知っているようで知らなかった生態を教わりながら、興味津々のひとときでした。春はハチの群れが新しい巣を探す分蜂の時期で、ニホンミツバチがこの巣箱を気に入れば、巣として使ってくれるとのこと。その確率は半々くらいだそうですが、ケヤキ林の楽しみがひとつ増えました！

2022 年度から、ケヤキ林の活用について考えるプロジェクトを計画しています。子供たちも楽しめる場所になるといいなと思っています。森の手入れなどの活動も引き続き行っていきますので、みなさんのご参加、アイデアお待ちしております！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
2/5	しいたけ菌打ち①	14	0	4	18
2/6	しいたけ菌打ち②	22	0	8	30
2/27	ケヤキ林の手入れ	5	2	3	10
3/13	炭焼き	10	1	4	15

ハチの待ち受け箱を囲んで（2/27 ケヤキ林の手入れ）

冬季オリンピックも終わり、あっという間に 3 月になりました。コロナウイルスの感染も収束がみられず、マスク生活からは抜け出せません。

そんな中、「しいたけ菌打ち」には多くの参加を頂き有難うございました。希望者多数のため、急きょ 2 日に分けて行いました。雪の舞う中の作業で大変だったと思います。2 日間で原木 2t ダンプ 3 台分、椎茸の駒 12,000 個の成果でした。お陰様で、今年の我が家の 3 割の作業を終えることができました。その後も、今シーズン伐倒した原木の植菌作業は 2/23 まで続きました。2/27 の山林コースは、「植林」から「ケヤキ林の手入れ」に変更したのですが、参加者が少なかったことと、原木が追加でダンプ 1 台分運ばれてきたこともあり、急きょ菌打ち作業を行いました。これにて我が家の椎茸菌打ち完了です。このあとは、原木の林内への伏せこみや、春の椎茸（春子）収穫、お茶の収穫に向けての作業が続きます。

山林コース今年度最後の行事は「炭焼き」です。先日、炭用の木材を取りに行った時の話です。ユニック（トラッククレーン）を使って、ダンプに材を積んでくださった方の年齢を聞いてビックリ！今年 91 歳のスーパーおじいちゃんでした。人生 100 年を感じました。まだまだ頑張らないと…。

行事の際、食事担当の私ですが、心がけていることがいくつかあります。行事に関連したものや、季節を感じるものをできるだけ提供したいと思っています。鴨料理は出ませんが、運が良ければ猪や鹿のジビエ料理が出ます。笠原の地域で昔から食べているものが中心の昼食を、これからも提供していけるよう頑張ります！皆さんの「美味しかった」の笑顔にエネルギーを頂いてます。

これからも、コロナから自分と周りの大切な人を守りましょう。そして、一日も早く戦争が終わることを願っています。

山林コース
宮園 佐津美

山村塾＊活動レポート

日帰りボランティア

国際ボランティアの募集が難しいなか、日帰りでのボランティアを募集し活動しています。

12 月～3 月 9 日の期間に計 6 回実施し、延べ 18 名の方々に参加いただきました。ありがとうございました！

【活動内容】

ソバの収穫・脱穀、ヤギ牧場の牧柵・電気柵設営、畑の手入れ、ピザ窯づくり準備など

電気柵設置完了！（1/26）

笠原棚田牧場を拡張しました！

10 年前の豪雨災害で耕作困難となった鰐八地区の棚田で、ヤギと一緒に草刈り管理を行っています。2017 年にクラウドファンディングで寄附を募り、「笠原棚田牧場」を作った場所です。

この牧場が手狭になってきたため、今回、日帰りボランティアの活動で、電気柵を使って牧場を広げました。電気柵の電気は、中古の家庭用太陽光パネルをヤギ小屋に取り付けて発電しています。電気柵の効果は順調で、牧場の面積は約 3 倍になり、現在 4 頭のヤギが牧場でのびのびと草を食んでいます。これで夏の草刈りが楽になるといいなと期待しています。笠原にお越しの際は、ぜひ牧場を覗いてみてください！

2022 年度も、月に 2 回程度活動予定です！
詳細はホームページより

森へ行こう♪

森林療法勉強会

森林療法とは、森林の中で心と身体を癒すプログラムです。 2/22 と 23 の 2 日間、東京農業大学教授の上原巌先生を講師に、スタッフ向けの森林療法勉強会を行いました。1 日目は座学、2 日目は実践編として、グリーンピア八女の落葉樹の森で、落ち葉集め、林内のくつろげる空間づくり、落ち葉のこたつとベッドづくり、森の中での自己カウンセリングのプログラムを行いました。

一番印象に残ったのは、”落ち葉のベッド”です。林内の低木を刈り取って作った小さな空間に寝そべり、集めた落ち葉を上からどっさり被せてもらいました。とても寒い日でしたが、落ち葉の中は暖かく、下から見上げる木々の枝が美しくて、非日常を感じ癒されました。また、森の中で好きな場所を見つけて座り、問いにそって考えを紙に書いていく " 自己カウンセリング " では、短時間でも自分とゆっくり向き合うことができました。

この勉強会を通じて、普段、自然が身近にあるようでいても、意識しなければ、「自然の中でゆっくり過ごすこと」はできていなかったと気付きました。もっと森を知り、森を楽しみたくなりました。（原 愛子）

ふかふかの
落ち葉ベッド！

冬の明るい森で自己カウンセリングの時間

その他の活動報告

日付	活動内容	会員	一般	スタッフ	計
12/4	里山ミニワーク 炭焼き	1	0	3	4
1/8	左義長準備	12	5	9	26
2/13	里山ミニワーク 農産物加工 みそ作り	5	2	6	13

スタッフコラム

小森 文子

1/8 は新年最初の行事、左義長でしたね。参加の皆さんお疲れ様でした！

皆さんが棚田で七草がゆに舌鼓を打っていた頃、小森家 3 名（耕太、文子、息子 6 年生）は、事務局のあるえがおの森で、翌日に向けて子供会の左義長準備をしていました。笠原の子ども会では毎年左義長を行っていますが、6 年生ということで、我が家は今年が最後の年でした。

さて迎えた当日、山村塾に負けずおとらずの立派なやぐらに点火するのは 6 年生の役目で、息子も笠原の同級生 6 人で無事に点火しました。例年なら左義長の火を頂いてお餅を焼いたり、BBQ をしたり、大人はお酒も入って飲んだり食べたりするのですが、コロナ禍ということで、今年はお餅だけを焼きました。

えがおの森のグラウンドに小さな網をいくつも設置して、2、3 家族ごとにおしゃべりしながら焼いて食べたのですが、その持ち寄ったお餅が、すごい！みんな、自分の家でついた「我が家のお餅」でした。お正月の準備でみんなお餅をつくんですよね。なかには、左義長の火で焼いて、じいちゃん、ばあちゃんにお土産に持って帰るよ～という人もいました。笠原に住んで 18 年ですが、改めて笠原の食は豊かだな～と感じた出来事でした。

網で焼いたお餅が、こんがりぷーっとふくらむ様子がかわいくて、焼きたくて、久々にお腹いっぱいお餅を食べました。

※我が家は、餅つきはしていないので、
四季菜館のお餅を持って参加しました。

山村塾 今後の予定

日程	行事名
4/10（日）	全体行事「顔見せ会」
NEW! 4/24（日）	稲作コース「棚田の石垣草取り」
5/3（火）	里山ミニワーク「お茶つみ」
5/8（日）	稲作コース「稲の種まき」
5/21（土）・22（日）	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
5/28（土）	第 9 回 通常総会
6/11（土）・12（日）	稲作コース「田植え」 ※ 2 回開催
6/19（日）	稲作コース「鴨進水式」
7/3（日）・24（日）	山林コース「下草刈り」
7/10（日）	稲作コース 「田の草取り・草刈り①」

行事および里山ミニワークの開催については、状況に応じて随時判断します。最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。
※ FAX や郵送でのご連絡を希望される方は、事務局までお知らせください。

寄贈ありがとうございます！

Panasonic 株式会社様より、2022 年 2 月 25 日に、炊飯器 2 台を寄贈いただきました。

笠原棚田米の PR イベントや、えがおの森でのボランティア事業で活用させていただきます。ご支援ありがとうございます。

お知らせ

2021 年 10 月から新スタッフとして働いていましたヤン キンホンが 1 月末をもって退職いたしました。短い期間でしたが皆さんには行事等でお世話になりました。

事務局より

会員募集中！

■ NPO 会員：山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援してくださる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。
■活動コース会員：いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。
【山村塾は「認定 NPO 法人」です】
・山村塾へのご寄附は、確定申告をすることで寄付金控除の対象となります。
・認定 NPO 法人の要件として、毎年 100 名以上の方からの寄附（3,000 円以上）を目標としています。

▶ご寄附の方法
■郵便振込口座から
加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：０１７９０－３－１６９３９８
■銀行から
・銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）
口座：当座　０１６９３９８
・銀行名：福岡銀行　黒木支店
口座：普通　１０８５３９８
特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。
■農産物を買う
会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。
■古本で寄付ができます！
古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

会員状況（2022 年 3 月時点）

※今回より個人名の記載に変えて、人数のみの報告とさせていただきます。
▶ NPO 会員
【正会員】　個人：33 名、団体：5 団体
【賛助会員】　個人：65 名、団体：2 団体
▶ 2021 年度活動コース会員
稲作・山林：6 名、稲作：23 名、稲作 30kg：13 名、山林：11 名、古里 9 名
▶ 2022 年度活動コース会員
稲作・山林：4 名、稲作 11 名、稲作 30kg：4 名、山林：6 名、古里：4 名
▶笠原棚田米サポーター
84 名（個人 80 名、企業・団体 4 名）

寄附者（2021 年 11 月～ 2022 年 3 月）

▶個人からのご寄附：
2021 年 11 月 1 日から 2022 年 3 月 15 日までに、42 件 361,203 円のご寄付を頂きました。ありがとうございました。
▶企業・団体からのご寄附
・11/6、MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社様から 15,000 円のご寄附をいただきました。
・12/6、あいおいニッセイ同和損保株式会社様から 300,000 円のご寄附をいただきました。
・12/23　油機エンジニアリング株式会社様から 10,000 円のご寄付をいただきました。
・古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（11/20：1,087 円）

山村塾の Instagram で
日々の活動を発信中です！

覗いてみてください
@ sansonjuku_official

編集後記
この冬の笠原は、積雪は少なかったものの、大変寒かったです…。春のたよりも遅めでしたが、最近の暖かさで、いろんな花が一気に咲き始めました。この季節の笠原の道が、色とりどりで美しくて大好きなんです。ドライブおすすめです。花と山菜の季節をしっかり味わいたいと思います！
（原 愛子）

＼お問い合わせ大歓迎！／

認定 NPO 法人 山村塾
〒 834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL・FAX 0943-42-4300
Email：info@sansonjuku.com **HP** https://sansonjuku.com
FB　https://www.facebook.com/sansonjuku

発行者：小森 耕太
編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより
山村塾　検索